湘南まぜこぜ計画　活動テーマ　～協働で困りごとの個別対応へ～

ケース２　学習支援に参加した小学生お母さんの報告「あきらめない。子どもの可能性は無限大です！」

経緯　〜どのように巡り合って今日に至ったか〜
子どもが6年生の頃、離婚調停中のため弁護士の先生に「教育方針や環境から息子を通わせたい中学校があるが、受験になるためもう一歩、わからないところを教えてもらえる場所があったら。」と伝えたところ、ひとり親のための「学習支援」があることを初めて知りました。

そこで自分の住んでいる地域で学習支援を検索。

ヒットした湘南まぜこぜ計画というNPO法人に問い合わせをしてみました。
直接ここに問い合わせをと案内された訳ではありません。
正直ひとり親の育児、家事をしながら働く収入や養育費では、塾代を捻出するのはとても困難です。育ち盛りですから食費だけでもいっぱいいっぱいなのが本音です。
その上日々の中で息子に勉強の時間を長時間割くのはとても疲れますし、子供が解るように説明するのは簡単ではありません。

NPOからすぐにお返事を頂き、代表の方との面会で事情をお話し、希望を伝えました。

学習支援の場が一軒家という環境、代表の方がいつもいらしてくれること、ほぼ先生と一対一で集中できること。歳の近い現役の大学生という親しみやすさなどが相まって、
息子は意欲的に通いたい！と、ほっとした気持ちを持てたようです。

いざ通うことが決まると行く日が楽しみなほど
元気な声で行って来まーすとワクワク出かけていく息子
行く日までにわからないところをまとめておいて時間は限られているので効率的に聞けるように準備をして向かいました。

まるで家でお兄さんに聞くように
リラックスしてわからないところが聞けることがあるという安心感はここならではです。

実は、理解できない問題をどうしたら良いのだろう(もう親に聞いてもわからないだろうな)と1人悩んでいたことを後々話してくれました。
やはり家庭教師や塾ではお金がかかることを知っていて家計の負担になるからお願いしたら親が困ると子供ながら親に気を遣ってしまっていたのです。
息子自ら、テレビで広告している進研ゼミのようなものをやりたいと言っていたことが何度かありますが、わからないことが息子の言葉で聞ける訳ではないなと渋ってました。

そもそも進学校の様な学習塾に通わせたい訳でもなく(息子のタイプとして合わないだろうと)、子供は子供時代にこそ目一杯遊んでほしいと思っております。まぜこぜ計画は受験の為の施設ではありませんが安心して息子のレベルに合わせサポートしてもらえ、遊びや他の活動など子供にあったらいいながあえう？居場所ができたこと。
親子ともどもそのことがどれほど有難いことだったでしょうか。
本当にここを知ることができて心から良かったです。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

まずこのような活動があることをそもそも知らない　様々な支援の情報は受け身では知るよしがないということ。当然親は難しくなってくる高学年〜中学校の学習を補習してくれる場所を探すも塾や通信を考えて金額がネックで諦めてしまう

フルタイムで働けば、子どもの勉強を見る時間が取れない。
このように格差がでてくるのだと痛感し悔しくも思ってました。

しかしひとり親だからといって学びの場があることを知り
勉強できる意欲やチャンスを諦めてはいけないと改めてそう思わされました。
息子の為に学びの場があるんだという情報を知りに行く努力をこれからも積極的にして行きたいです。

ひとり親という家庭環境において学校や家以外に、第3の場所として様々な年齢との交流は息子の精神衛生上とても良く頼れる「拠り所」になったことが良かったです。
駄菓子コーナーがありそこで
もらえるお菓子がポテンシャルになったり、子どものやる気を上手に引き出してくれました。ちょっとしたこのようなゆとりが子供を喜んでまた来たいと思うきっかけになるものです。

これからは英語の学習もプラスしたいと先生方に伝え、これからまた中学生になっても学びに行きたい！と意欲的です。

いつでも思うことは~~原田さん~~代表の方の子供を伸ばす問いかけが素晴らしいと感じていて、子どもの健全な成長を本当に心から願っていらっしゃるということを感じております。

子どもを安心して子ども一人預けられる。遊びに行けるという居場所があることは本当に有難いことです。親が働いていて1人家にいる今の子供は1人おやつを食べ、ゲームをしている子が多いのではないでしょうか？

人間は人と関わり合ってこそ育つと思っています。

〜同じように、困難を抱えた親子のために〜
このような活動をするNPO法人があるという情報を早く知ること
親子だけで困らないこと。手を差し伸べてくれる親切で温かい~~原田さん~~NPOの方や先生方がいるということ。居場所があるということを知って門を叩く行動をしてほしいと思います。

親として出来ることをひとり親だからといって諦めないこと
子供は可能性に満ちています。